

令和 3 年 6 月 8 日現在

機関番号：34701

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2017～2019

課題番号：17H04517

研究課題名(和文) 海洋交易路における仏教流伝形態の研究

研究課題名(英文) Study of Buddhist traditions on the maritime trade route

研究代表者

松長 有慶 (Matsunaga, Yukei)

高野山大学・文学部・名誉教授(移行)

研究者番号：30086029

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,200,000円

研究成果の概要(和文)：研究対象地としてインドネシア諸島に焦点を絞り調査を進めた。現地での密教遺品の収集を実施し、遺品の主要部分を占める金属製遺品の蛍光エックス線による成分分析を実施した。また、インドネシアの旧宗主国であったオランダの各施設の研究機関においても現地調査を実施し、インドネシア出土品として考察対象に加えた。考察の結果、インドネシア諸島には密教系仏教、特に瑜伽部から初期無上瑜伽部の遺品が多数現存していることが判明した。最終年度に『研究報告書』として、インドネシア側の研究論文2編(英文)と日本側の研究論文6編(日本文、および英文)と、海外現地調査で収集した写真資料を付した『研究報告書』を発刊した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

海洋交易路によって伝播・形成された密教系仏教の実像を解明することを目的とした。近年、インド密教については、文献・遺品・遺構などの各種資料に基づいた研究が着実に加速している。一方、インドと文化的に密接な関係を持つ海洋・島嶼地域には、8世紀から14世紀における仏教関連資料が多数遺存しているものの、これらの総合的・包括的な分析研究はまだまだ端緒を開いたところである。本研究は、これまでに蓄積してきた研究成果を踏まえ、未整理・未分析の資料を詳細に分析することで、海洋交易路の重要な中継点であるインドネシアで展開した仏教の思想的・歴史的意義と、仏教伝播において海洋・島嶼地域が果たした役割を明確にした。

研究成果の概要(英文)：We focused on the Indonesian Islands as the research target and proceeded with the survey. He collected esoteric relics locally and analyzed the components of metal relics, which make up the main part of the relics, by fluorescent X-rays. In addition, field surveys were also conducted at research institutes at each facility in the Netherlands, which was the former suzerain of Indonesia, and were added to the list of items excavated in Indonesia. As a result of consideration, it was found that many relics of esoteric Buddhism, especially from Anuttarayoga to the early Anuttarayoga, still exist in the Indonesian Islands. In the final year, as a "research report", "Research" with 2 research papers from the Indonesian side (English), 6 research papers from the Japanese side (Japanese and English), and photographic materials collected in overseas field surveys. Report " was published.

研究分野：宗教学、密教学

キーワード：密教 金剛頂経 海洋交易路 インドネシア 曼荼羅 智拳印 ヒンドウ 大日経

1. 研究開始当初の背景

インドネシア島嶼部では、7世紀にスマトラ島とマレー半島を版図とするシュリーヴィジャヤ朝が興り、8~9世紀にジャワ島中部地域を中心とするシャイレンドラ朝が勢力を強めた。これらの王朝は、いずれも海洋交易路を通じてインドから多大な文化的影響を受容したため、14世紀のイスラム勢力侵攻までの数世紀にわたり、大乘仏教および密教系仏教が盛行した。

当該地域における仏教事情は、7世紀後半の義浄『南海寄帰内法伝』の記述から復元されるものの、翻っていえば、それ以外の観点からの研究は捗々しいものではなかった。その理由として、大きく2点が考えられる。すなわち、仏教学・密教学の分野における研究動向が長らくインド・中国・日本という三国仏教史に基づくユーラシア大陸の陸上交易路によって伝播した、いわゆる北伝ルートを重んじるものであった点、そしてインドネシアの仏教は、中世以降に進出してきたイスラム文化によって生きた要素がほとんど埋もれ、蔽い隠されてしまったと考えられてきたためである。に関しては20世紀に入り、チベット仏教研究が躍進することで三国仏教史観以外の地域についても学問的注目や研究リソースが集まるようになって、前進の兆しが見られ始めた。これに連動しても、インドネシア島嶼部にはインド仏教の展開、とりわけ密教が盛んであったパーラ朝時代と緊密な関係を持つ、重要な出土遺品および文献資料が大量に残されていることが明らかになってきた。

2. 研究の目的

本研究は、海洋交易路によって伝播・形成された密教系仏教の実像を解明することを目的とした。近年、インド密教については、文献・遺品・遺構などの各種資料に基づいた研究が着実に加速している。一方、インドと文化的に密接な関係を持つ海洋・島嶼地域には、8世紀から14世紀における仏教関連資料が多数遺存しているものの、これらの総合的・包括的な分析研究はいまだ端緒を開いたところである。本研究は、海洋交易路の重要な中継点であるインドネシアで展開した仏教の思想的・歴史的意義と、仏教伝播において海洋・島嶼地域が果たした役割を明確にした。

3. 研究の方法

出土品に関しては、現時点で、スマトラ島(中東部・東南部)・ジャワ島全域・バリ島各島の主要機関(インドネシア国立博物館、ジョグジャカルタ、スラカルタ、モジョケルト、メダン、パダンの博物館・考古学局収蔵施設)が所蔵する金銅仏・密教法具についての基礎調査を完了し、さらに蛍光エックス線機器による金属成分分析を行った。また、各機関が所持・運用している目録に掲載されていない資料や学術的に妥当ではないデータが記載された資料について、適切に補正・修正した上で体系化作業を実施した。

一方、調査対象とする文献資料である貝葉写本(ロンタル)は、現在もバリ島の各寺院で儀礼に実用されているため、解読研究に際しても制限が多い。しかし、寺院関係者の協力が得られたことにより、『聖大乘論』(Sang Hyang kamahāyānikan)をはじめとする密教経典・儀軌写本の撮影を研究協力者に依頼し、所蔵者から研究目的の共用閲覧が許可されたものについてはデータベースに収録し、出土遺品と同じく研究分担者と研究協力者との共同

研究により内容分析を進めた。

4．研究成果

当該分野の研究は、インドネシア島嶼部における仏教に対し独自の発展過程や要素を見出すよりも、文化的母胎であるインド大乘仏教および密教的仏教の諸相と比較し、その類似点を検証する傾向にあった。しかしながら本調査研究により、これまで十全の資料収集がなされなかった密教法具やヒンドゥー教・仏教関係の儀軌、金属板に刻された経典や簡易に制作できる小型泥塔なども含む独自の包括的な調査・検証がなされ、バリ島諸寺院に伝存する文献資料群の全容把握と主要経論の解読に成果をあげることができた。また、本研究を通じて、現地研究協力者や関連機関、寺院関係者の多大な理解と協力を得ることができ、今後の国際的な共同研究の基礎が築かれた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計10件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 10件）

1. 著者名 加納和雄（共著）	4. 巻 41号
2. 論文標題 「梵文和訳サマーヨーガ・タントラ第1章」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大正大学総合佛教研究所紀要	6. 最初と最後の頁 未定
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 松長恵史	4. 巻 53
2. 論文標題 スマトラ島、ジャワ島における仏教遺跡の現状	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高野山大学論叢	6. 最初と最後の頁 49-62
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 松長恵史	4. 巻 2
2. 論文標題 海洋交易路における密教の流伝 - ジャワ島からバリ島へ -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高野山大学図書館紀要	6. 最初と最後の頁 5-26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 松長有慶	4. 巻 244
2. 論文標題 密教の興起と流伝に関する調査報告	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 密教文化	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 松長潤慶（恵史）	4. 巻 244
2. 論文標題 インドネシア出土の金剛薩埵の画像学的特徴	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 密教文化	6. 最初と最後の頁 40-51
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 松長潤慶（恵史）	4. 巻 85
2. 論文標題 海洋交易路における密教の流传	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本仏教学会年報	6. 最初と最後の頁 127-152
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 那須真裕美	4. 巻 244
2. 論文標題 ジャワ島・バリ島・スマトラ島における泥製奉獻品 一縁起法頌を手掛かりにして一	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 密教文化	6. 最初と最後の頁 85 - 108
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 櫻木潤	4. 巻 244
2. 論文標題 義浄撰述書からみた求法僧の動向 一海洋交易路による求法と南海諸国一	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 密教文化	6. 最初と最後の頁 56-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 加納和男	4. 巻 244
2. 論文標題 聖大乘真言道とジャバドラ –中世インドネシアの表白要文集とその背景–	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 密教文化	6. 最初と最後の頁 110-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内藤栄	4. 巻 244
2. 論文標題 インドネシアの密教及びヒンドゥー教における鈴について –金属成分分析による分類–	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 密教文化	6. 最初と最後の頁 11-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計1件

1. 著者名 松長恵史 責任編集 肥塚隆 (共著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中央公論美術出版	5. 総ページ数 33(625)
3. 書名 アジア仏教美術論集 東南アジア	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	加納 和雄 (kanou kazuo) (00509523)	駒澤大学・仏教学部・講師 (32617)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	櫻木 潤 (sakuragi jun) (10454604)	高野山大学・文学部・助教 (34701)	
研究分担者	乾 仁志 (inui hitoshi) (30168421)	高野山大学・文学部・教授（移行） (34701)	
研究分担者	内藤 栄 (naitou sakae) (40290928)	独立行政法人国立文化財機構奈良国立博物館・その他部局等・部長 (84603)	
研究分担者	那須 真裕美 (nasu mayumi) (40424973)	種智院大学・人文学部・講師（移行） (34308)	
研究分担者	松長 恵史 (matsunaga keiji) (90768897)	高野山大学・文学部・教授（移行） (34701)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関